



RESOLUTION No. 35) MIGRATION PROJECT

第35号決議) 移民プロジェクト

第29回国際公務労連 (PSI) 世界大会
2012年11月27日-30日、南アフリカ・ダーバン

以下の点に留意する。

1. 英語圏の東西小地域は、PSI移民プログラムの支援を継続的に受けている。
2. PSI移民プログラムは、小地域内、とくにガーナにおいてヘルスワーカーの離職率を大きく下げてきた。

さらに以下の点に留意する。

1. 移民プログラムとその恩恵に対するヘルスワーカーの意識は高い。
2. ヘルスケアに携わる人材の移住に関して、小地域で感作を続けていくことに対し、メンバーからの需要が高い。

以下の点を決議するよう求める。

1. 小地域が継続的に移民プログラムの支援から恩恵を得ていることから、アフリカにおいては、ガーナとケニアの移民プログラムを継続、拡大するべきである。
2. PSIは、たとえば小地域の保健部門の加盟組合が指揮を執るなど、移民プログラムに関する任務を確認するべきである。

行動プログラムおよび規約を含む大会決議 [Congress resolutions](#) を参照のこと